

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史
原始	-7000(縄文時代)			
	-400(縄文時代)			
古墳・飛鳥時代	前1世紀(弥生時代)	・近畿まで稲作が北進する		
	3世紀(弥生時代)	・稲作の北進 本州北端(青森)まで		
	239(3世紀)	・邪馬台国卑弥呼[親魏倭王]の称号受ける		
	300(4世紀頃)			
	500(6世紀当初)			
	645(大化元年)	・大化の改新		
	646(大化2年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班田収授の法を制定</li> <li>・公地公民制を宣言</li> <li>・租・庸・調を定める</li> </ul>		
	682(天武11年)		・この頃、越国が越前国、越中国、越後国に分割される	
	694(持統8年)	・藤原京に遷都		
	701(大宝元年)	・大宝律令		
	702(大宝2年)			
奈良時代	710(和銅3年)	・平城京に遷都		
	722(養老6年)	・墾田100万町歩の開墾を計画する		
	723(養老7年)	・墾田の開発をすすめ、用益の年限をきめる(三世一身法)		
	741(天平13年)			
	743(天平15年)	・墾田を私財とする事を許す(墾田永世私有令)	・佐渡国を越後国に併合する	
	746(天平18年)			
	752(天平勝宝4年)		・佐渡国を復置する	
	757(天平宝字元年)			
	765(天平神護元年)	・寺院以外の墾田開発を禁止		
	784(延暦3年)	・長岡京に遷都		
	794(延暦13年)	・平安京に遷都		
	821(弘仁12年)	・空海、満濃池を作る		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史
平安時代	902(延喜2年)	・延喜の荘園整理令		
	927(延長5年)	・『延喜式』完成		
	平安時代	・平安中期の耕地面積862,767町		・越後国:耕地14,997町、佐渡国:耕地3,960町、耕地計18,957町
	1017(寛仁元年)	・藤原道長が太政大臣となる		
	1045(寛徳2年)	・寛徳の荘園整理令		
	1060(康平3年)			・康平絵図によれば新潟平野の大半が海中にあった
	1062(康平5年)	・前九年の役平定(安部氏亡ぶ)		
	1069(延久元年)	・延久の荘園整理令		
	1086(応徳3年)	・白河上皇、院政を始める		
	1087(寛治元年)	・後三年の役平定		
	1156(保元元年)	・保元の乱		
	1159(平治元年)	・平治の乱		
	1167(仁安2年)	・平清盛、太政大臣となる		
鎌倉時代	1183(寿永2年)			
	1185(文治元年)	・守護、地頭を設置		
	1192(建久3年)	・源頼朝、征夷大將軍となる		
	1207(承元元年)		・親鸞を越後に流す	
	1221(承久3年)	・承久の乱	・順徳上皇、佐渡に流される	
	1232(貞永元年)	・北条泰時、関東御成敗式目(貞永式目)制定		
	1274(文永11年)	・文永の役[蒙古襲来]		
	1281(弘安4年)	・弘安の役[蒙古襲来]		
	1297(永仁5年)	・永仁の徳政令発布		
	1333(元弘3年)	・鎌倉幕府滅亡		
	1334(建武元年)	・建武の中興		
	1336(建武3年)	・後醍醐天皇、吉野に移る(南北朝分裂)		
	1338(延元3年)	・足利尊氏、征夷大將軍となる		
	1362(貞治元年)		・上杉憲顕、越後守護に復す	
	1363(貞治2年)		・足利基氏、上杉憲顕を関東管領とする	
	1368(応安元年)	・足利義満、征夷大將軍となる		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史
室町時代	1392(明徳3年)	・南北朝の合一		
	1419(応永26年)		・上杉憲実、関東管領となる	
	1428(正長元年)	・正長の土一揆		
	1467(応仁元年)	・応仁の乱起こる		
	1488(長享2年)	・加賀一向一揆		
	室町時代	・室町期の耕地面積854,791町		・越後国:耕地23,738町、佐渡国:耕地3,870町、耕地計27,608町
	1506(永正3年)			
	1543(天文12年)	・種子島に鉄砲伝来		
	1550(天文19年)		・上杉定実死去、越後守護家断絶 ・長尾景虎(上杉謙信)国主となる	
	1553(天文22年)		・謙信、川中島に出兵して北信諸氏を援ける(第1回川中島戦)	
1561(永禄4年)		・謙信、関東管領就任 ・謙信、信玄と川中島で戦う		
1564(永禄7年)		・謙信、川中島に出陣(第5回川中島対陣)		
1573(天正元年)	・室町幕府滅びる	・謙信、越中を平定し、加賀朝日城を攻める		
安土・桃山時代	1578(天正6年)		・上杉謙信死去(49歳)	
	1581(天正9年)			
	1582(天正10年)	・本能寺の変 ・太閤検地始まる(～'98)		
	1585(天正13年)	・豊臣秀吉、関白となる		
	1588(天正16年)	・刀狩、封建的身分制、兵農分離		・天正年間に上江用水の開削が始まる(3期130年完成)*1
	1589(天正17年)		・上杉景勝、佐渡国を平定する	
	1590(天正18年)			
	1598(慶長3年)		・景勝、越後より会津120万石に移封	
	1600(慶長5年)	・関ヶ原の戦い	・相川金山開発(道遊の割戸) ・新潟平野は内湾性の湖沼や潟などが多数存在する大低湿地状態であった	
	1601(慶長6年)		・佐渡、徳川氏の直轄地となる	
1602(慶長7年)				

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史
	1603 (慶長8年)	・徳川家康、征夷大將軍に任命され、江戸幕府を開く		
	1604 (慶長9年)			
	1605 (慶長10年)			
	1606 (慶長11年)			・佐渡 上江用水*1
	1607 (慶長12年)			
	1608 (慶長13年)			
	1609 (慶長14年)			
	1610 (慶長15年)			
	1611 (慶長16年)			
	1612 (慶長17年)			
	1613 (慶長18年)			
	1614 (慶長19年)	・大阪冬の陣		
	1615 (元和元年)	・大阪夏の陣 ・武家諸法度、禁中並公家諸法度を定める		
	1616 (元和2年)		・高田藩領大地震、津波による死者多数	
	1617 (元和3年)			
	1618 (元和4年)			
	1619 (元和5年)			
	1620 (元和6年)			
	1621 (元和7年)			
	1622 (元和8年)			
	1623 (元和9年)			
	1624 (寛永元年)			
	1625 (寛永2年)			
	1626 (寛永3年)			
	1627 (寛永4年)			
	1628 (寛永5年)			
	1629 (寛永6年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史
	1630(寛永7年)			
	1631(寛永8年)			
	1632(寛永9年)			
	1633(寛永10年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿賀野川氾濫し、信濃川に合流</li> <li>・新潟港、良港となる</li> </ul>	
	1634(寛永11年)			
	1635(寛永12年)			
	1636(寛永13年)			
	1637(寛永14年)			
	1638(寛永15年)			
	1639(寛永16年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎖国令</li> </ul>		
	1640(寛永17年)			
	1641(寛永18年)			
	1642(寛永19年)			
	1643(寛永20年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田畑永代売買禁止令</li> </ul>		
	1644(正保元年)			
	1645(正保2年)			
	1646(正保3年)			
	1647(正保4年)			
	1648(慶安元年)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・慶安年間:浄楽寺新田(中蒲原郡、開田530町、開畑71町)*5</li> </ul>
	1649(慶安2年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方五役5人組制度</li> </ul>		
	1650(慶安3年)			
	江戸時代前期			<ul style="list-style-type: none"> <li>・高田藩26、村上藩15、長岡藩7、新発田藩5、村松藩3万石、佐渡天領</li> </ul>
	1651(慶安4年)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島江用水(古志郡、1200町)*2</li> </ul>
	1652(承応元年)			
	1653(承応2年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幕府、玉川上水開削を許し、費用を与える</li> </ul>		
	1654(承応3年)			
	1655(明暦元年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・明暦年間:新潟地方の米を西廻りで大坂に運漕することがはじまる</li> </ul>	
	1656(明暦2年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史
	1657 (明暦3年)			
	1658 (万治元年)			
	1659 (万治2年)			
	1660 (万治3年)			・上條開墾(南蒲原郡、開田120町)*5
	1661 (寛文元年)			
	1662 (寛文2年)			
	1663 (寛文3年)			
	1664 (寛文4年)			
	1665 (寛文5年)			
	1666 (寛文6年)	・山川掟の発令		
	1667 (寛文7年)			
	1668 (寛文8年)			
	1669 (寛文9年)			
	1670 (寛文10年)			
	1671 (寛文11年)			・寛文年間に下増田新田(中頸城郡、150町)
	1672 (寛文12年)		・河村瑞賢、西廻り航路を開く	
	1673 (延宝元年)			
	1674 (延宝2年)	・分地制限法	・松平光長の臣小栗美作守正矩、中江用水を掘る	
	1675 (延宝3年)			
	1676 (延宝4年)			
	1677 (延宝5年)			
	1678 (延宝6年)			・中江用水*1 ・大瀧野新開(中頸城郡、600町)*5
	1679 (延宝7年)			
	1680 (延宝8年)			
	1681 (天和元年)			
	1682 (天和2年)			
	1683 (天和3年)			
	1684 (貞享元年)	・河村瑞賢、淀川下流の治水事業に着手(~'85)		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史
	1685 (貞享2年)			
	1686 (貞享3年)			
	1687 (貞享4年)	・田畑永代売買禁止を再令する		
	1688 (元禄元年)			
	1689 (元禄2年)			・愛宕原開墾地(中蒲原郡、茶園70町)*5
	1690 (元禄3年)			
	1691 (元禄4年)			・横沢村開墾地(刈羽郡、43町)*5
	1692 (元禄5年)			
	1693 (元禄6年)			
	1694 (元禄7年)			
	1695 (元禄8年)			
	1696 (元禄9年)	・宮崎安貞「農業全書」刊		
	1697 (元禄10年)			
	1698 (元禄11元年)			
	1699 (元禄12年)			
	1700 (元禄13年)			
	1701 (元禄14年)			
	1702 (元禄15年)			
	1703 (元禄16年)			
	1704 (宝永元年)	・大和川の付替工事開始		
	1705 (宝永2年)	・大和川旧河道新田開発		
	1706 (宝永3年)			
	1707 (宝永4年)	・富士山噴火、宝永山できる		
	1708 (宝永5年)	・貝原益軒『大和本草』		
	1709 (宝永6年)	・新井白石を登用する		
	1710 (宝永7年)			
	1711 (正徳元年)			
	1712 (正徳2年)			
	1713 (正徳3年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史
江戸時代	1714 (正徳4年)			
	1715 (正徳5年)			
	1716 (享保元年)	・徳川吉宗、第8代将軍となる		
	1717 (享保2年)			・上江用水(西頸城郡、3600間)*5
	1718 (享保3年)			
	1719 (享保4年)			
	1720 (享保5年)			
	1721 (享保6年)	・目安箱の設置		
	1722 (享保7年)	・新田開発の奨励		
	1723 (享保8年)			
	1724 (享保9年)			・新江用水*2
	1725 (享保10年)			
	1726 (享保11年)	・新田検地条目の制定	・江戸橋本町の竹前小八郎、幕府に紫雲寺 潟開発許可申請を提出	
	1727 (享保12年)			
	1728 (享保13年)			
	1729 (享保14年)			
	1730 (享保15年)			・阿賀野川分流のため松ヶ崎浜を開削*3
	1731 (享保16年)			
	1732 (享保17年)	・山陽・南海・西海・畿内蝗害のため大飢饉	・春、阿賀野川洪水により、松ヶ崎掘割が大 破、掘割が阿賀野川の本流となる、こののち 阿賀北地域の新田開発が進む	
	1733 (享保18年)			
1734 (享保19年)			・紫雲寺潟を干拓(北蒲原郡、2000町)*3	
1735 (享保20年)	・幕府、米価下落を防ぐため最低価格を決める			
1736 (元文元年)		・信濃の人竹前権兵衛の紫雲寺潟開発計画 完成、検地を受ける		
1737 (元文2年)			・辰巳開墾(佐渡郡)*5	
1738 (元文3年)				
1739 (元文4年)				
1740 (元文5年)				



時代 代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史
	1741 (寛保元年)			
	1742 (寛保2年)			
	1743 (寛保3年)			
	1744 (延享元年)			
	1745 (延享2年)			
	1746 (延享3年)			
	1747 (延享4年)			
	1748 (寛延元年)			
	1749 (寛延2年)	・定免制を全面的に施行		
	1750 (寛延3年)			
	江戸時代中頃	・江戸中期の耕地面積: 田1,695,923町、畑1,417,074町、計3,013,546町		・越後国: 田66,193町、畑40,610町、計106,803町 ・佐渡国: 田56,554町、畑4,169町、計10,723町 ・田計72,747町、畑計44,779町、総計117,526町
	1751 (宝暦元年)			
	1752 (宝暦2年)			
	1753 (宝暦3年)			
	1754 (宝暦4年)			
	1755 (宝暦5年)	・木曾川の治水工事完成		
	1756 (宝暦6年)			
	1757 (宝暦7年)			
	1758 (宝暦8年)			
	1759 (宝暦9年)			
	1760 (宝暦10年)			
	1761 (宝暦11年)			
	1762 (宝暦12年)			
	1763 (宝暦13年)			
	1764 (明和元年)			
	1765 (明和2年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史
	1766(明和3年)			
	1767(明和4年)			
	1768(明和5年)			
	1769(明和6年)			
	1770(明和7年)			
	1771(明和8年)			
	1772(安永元年)	・田沼意次、老中となる		
	1773(安永2年)			・阿賀野川の流路を通船川筋に移す*3
	1774(安永3年)			
	1775(安永4年)			
	1776(安永5年)			
	1777(安永6年)			
	1778(安永7年)			・笹岡新田(南蒲原郡、65町)*5
	1779(安永8年)			
	1780(安永9年)			
	1781(天明元年)			・中川新田(中蒲原郡、30町)*5
	1782(天明2年)	・下総印旛沼干拓に着手 ・瀬戸内・九州など大凶荒		
	1783(天明3年)	・浅間山大噴火 ・冷害のため諸国大飢饉		
	1784(天明4年)	・この春夏諸国飢饉、農民流亡のため農村荒廃		
	1785(天明5年)	・奥羽飢饉		・桔梗原用水*1 ・田沢新田(中魚沼郡、30町)*5
	1786(天明6年)	・下総手賀沼開発に着手するも、間もなく中止 ・老中田沼意次失脚 ・諸国大凶作		
	1787(天明7年)	・松平定信、老中就任 ・寛政の改革が始まる		
	1788(天明8年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史
	1789 (寛政元年)	・困米の制を定める		
	1790 (寛政2年)			
	1791 (寛政3年)			
	1792 (寛政4年)			
	1793 (寛政5年)			
	1794 (寛政6年)			
	1795 (寛政7年)			
	1796 (寛政8年)			
	1797 (寛政9年)			
	1798 (寛政10年)		・幕府諸国の人口を調査、越後国、男54万2672人、女51万1002人	
	1799 (寛政11年)			・宮川新田(刈羽郡、15町)*5
	1800 (寛政12年)	・伊能忠敬、蝦夷地を測量する		
	1801 (享和元年)			
	1802 (享和2年)		・伊能忠敬、越後沿海を測量(～'03)	
	1803 (享和3年)			
	1804 (文化元年)			
	1805 (文化2年)			
	1806 (文化3年)			
	1807 (文化4年)			
	1808 (文化5年)			
	1809 (文化6年)			・鹿渡新田(中魚沼郡、24町)*5
	1810 (文化7年)			
	1811 (文化8年)			・稲荷中江(中頸城郡、500町)*5
	1812 (文化9年)			
	1813 (文化10年)			
	1814 (文化11年)			
	1815 (文化12年)			
	1816 (文化13年)			
	1817 (文化14年)	『農具便利論』		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史
	1818(文政元年)			
	1819(文政2年)			
	1820(文政3年)			・新川の開削
	1821(文政4年)	・伊能忠敬、『大日本沿海実測地図』完成		
	1822(文政5年)			
	1823(文政6年)			
	1824(文政7年)			・川東用水(西頸城郡、19町)*5
	1825(文政8年)			
	1826(文政9年)			・馬場開墾地(中魚沼郡)*5
	1827(文政10年)			
	1828(文政11年)			
	1829(文政12年)			
	1830(天保元年)			
	1831(天保2年)	・諸国石高を調査する		
	1832(天保3年)			
	1833(天保4年)	・この冬、風水害により奥羽・関東飢饉		
	1834(天保5年)	・諸国飢饉		
	1835(天保6年)		・福島潟新田1221町歩が新発田藩に譲渡される ・鈴木牧之、『北越雪譜』をあらわす	
	1836(天保7年)	・諸国飢饉、奥羽地方最も甚だしく死者10万人に及ぶ		
	1837(天保8年)	・大塩平八郎の乱 ・この春、諸国飢饉、餓死多数		
	1838(天保9年)			
	1839(天保10年)	・この年、奥羽飢饉、死者・流民多数		
	1840(天保11年)			
	1841(天保12年)	・天保改革はじまる		
	1842(天保13年)			・餘所平用水(西頸城郡、20町)*5
	1843(天保14年)	・印旛沼開墾開始		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史
	1844(弘化元年)	・印旛沼開墾中止		
	1845(弘化2年)			
	1846(弘化3年)			
	1847(弘化4年)	・信州大地震(善光寺地震)		
	1848(嘉永元年)			・谷根開墾地(中頸城郡、10町)*5 ・大原開墾地(中蒲原郡、50町)*5
	1849(嘉永2年)			
	1850(嘉永3年)			
	1851(嘉永4年)			
	1852(嘉永5年)			
	1853(嘉永6年)	・ペリ―浦賀来航		
	1854(安政元年)	・日米和親条約		
	1855(安政2年)	・江戸大地震(安政の大地震)		
	1856(安政3年)			・川原開墾地(刈羽郡、10町)*5
	1857(安政4年)			
	1858(安政5年)	・日米修好通商条約	・日米通商条約 ・新潟港、開港予定候補地の1つとなる	
	1859(安政6年)			
	1860(万延元年)	・桜田門外の変		・前谷新田(南蒲原郡、200町)*5
	1861(文久元年)			
	1862(文久2年)			
	1863(文久3年)			
	1864(元治元年)	・禁門の変、第1次長州征伐		
	1865(慶応元年)			・菱潟樋管(中蒲原郡、500町)*5 ・内ヶ巻新開(北魚沼郡、50町)*5
	1866(慶応2年)	・薩長同盟、第2次長州征伐		
	1867(慶応3年)	・大政奉還、王政復古宣言		
	1868(慶応4年)	・鳥羽・伏見の戦い(戊辰戦争起こる)		
	1868(明治元年)	・明治維新	・新潟港開港する	

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史
明治時代	1869 (明治2年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京遷都</li> <li>・版籍奉還</li> <li>・開拓使設置</li> </ul>		
	1870 (明治3年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勸農局(翌年、開墾局に改称)を設ける</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大河津分水の工事着手*4</li> </ul>
	1871 (明治4年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸籍法を定める</li> <li>・廃藩置県</li> <li>・田畑勝手作許可</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃藩置県、新潟・柏崎・相川の3県となる</li> </ul>	
	1872 (明治5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田畑売買禁止の解除</li> </ul>		
	1873 (明治6年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徴兵令・地租改正条例を公布</li> <li>・内務省設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟県、柏崎県を合併</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江口開墾地(北魚沼郡、20町)*5</li> </ul>
	1874 (明治7年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道屯田兵制度を設ける</li> </ul>		
	1875 (明治8年)			
	1876 (明治9年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟県、相川県を合併</li> </ul>	
	1877 (明治10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地租軽減(地価の3%から2.5%に)</li> <li>・西南戦争</li> </ul>		
	1878 (明治11年)			
	1879 (明治12年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営安積疏水猪苗代湖開墾事業に着工(～'82)</li> </ul>		
	1880 (明治13年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区町村会法制定施行</li> </ul>		
	1881 (明治14年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農商務省設置</li> <li>・大日本農会創立</li> </ul>		
	1882 (明治15年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本銀行開業</li> </ul>		
	1883 (明治16年)			
	1884 (明治17年)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・亀田郷で新排水路の開削*4</li> </ul>
	1885 (明治18年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太政官制を廃止(内閣制度を樹立)</li> </ul>		
	1886 (明治19年)			
	1887 (明治20年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石川県石川郡上安原村で石川式区画整理を開始</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・信濃川河身改修工事着工*4</li> </ul>
	1888 (明治21年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市制及び町村制を公布</li> </ul>		
	1889 (明治22年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大日本帝国憲法発布</li> </ul>		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史
		・東海道本線全通		
	1890 (明治23年)	・水利組合条例・公有水面埋立法公布		
	1891 (明治24年)	・濃尾大地震		・北蒲原郡福島方に排水ポンプの導入(蒸気機関による渦巻ポンプ)*4
	1892 (明治25年)			・排水機の導入(西蒲原郡巻町)*4
		・耕地面積、田2,805,212ha、畑2,307,956ha、計5,113,168ha		・田167,459ha、畑79,471ha、計246,930ha
	1893 (明治26年)		・直江津・上野間の鉄道が全通する	
	1894 (明治27年)	・日清戦争(～'95)		
	1895 (明治28年)			
	1896 (明治29年)	・河川法制定	・信濃川流末改修工事がはじまる(～'03)	
	1897 (明治30年)	・砂防法・森林法を公布		
	1898 (明治31年)			
	1899 (明治32年)	・耕地整理法公布		
	1900 (明治33年)			
	1901 (明治34年)			
	1902 (明治35年)	・日英同盟成立 ・北海道土巧組合法公布		・刈羽郡で6馬力の石油発動機により32.4町歩の排水が行われる*4
	1903 (明治36年)			
	1904 (明治37年)	・日露戦争(～'05)		
	1905 (明治38年)	・耕地整理法改正(灌漑排水の追加)		
	1906 (明治39年)			
	1907 (明治40年)	・耕地整理研究会(後の農業土木学会)発足	・大河津分水工事(国直轄)着工される(～'24)	
	1908 (明治41年)			
	1909 (明治42年)	・耕地整理法改正(開墾・地目変換を認め、耕地整理組合を法人化)		・大河津分水着工*4
	1910 (明治43年)	・韓国併合		
	1911 (明治44年)			
	1912 (大正元年)			
	1913 (大正2年)	・北海道大冷害	・北陸線富山・直江津間が開通し、北陸線全通	・白根郷鷺ノ木排水機場完成*4
	1914 (大正3年)	・第一次世界大戦勃発	・磐越西線全通	・阿賀野川改修工事着工(～'61)*4

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史
大正時代		・耕地整理法改正(目的に埋立・干拓を追加)	・上越線全通	・阿賀野川改修工事着工(～'24)
	1915(大正4年)			
	1916(大正5年)			
	1917(大正6年)	・米価高騰		
	1918(大正7年)	・富山県下で米騒動、以後1道3府32県に波及		
	1919(大正8年)	・都市計画法公布		
	1920(大正9年)	・第1回国勢調査実施(総人口7698万人、内地5596万人)		
	1921(大正10年)	・米穀法公布		
	1922(大正11年)		・大河津分水路が完成し、通水を始める	
	1923(大正12年)	・関東大震災		
	1924(大正13年)		・羽越線全通	・東通川改修附帯用水改良事業着工(～'31)
	1925(大正14年)	・普通選挙法(男子)公布		・白根郷用水改良事業着工(～'29)
	1926(大正15年)	・自作農創設維持補助規則制定公布		・中之島村排水改良事業着工(～'33')
	1926(昭和元年)			
	1927(昭和2年)	・金融恐慌起こり、休業銀行続出 ・丹後地震		・東大通川附帯用水改良事業着工(～'28)
	1928(昭和3年)	・普通選挙による最初の衆議院議員総選挙		・長岡市周辺東郷用水改良事業着工*4 ・鋸屋池(改修)*2 ・白根郷排水改良事業着工(～'32)
	1929(昭和4年)	・世界的経済大恐慌 ・農業土木学会(後の農業農村工学会)創立		
	1930(昭和5年)	・昭和恐慌 ・農業恐慌、農村の危機深刻化する		・味方郷用排水改良事業着工(～'36) ・坂井輪村外1ヶ村排水改良事業着工(～'35')
	1931(昭和6年)	・満州事変起こる ・北海道、東北に冷害、未曾有の大凶作	・清水トンネルの貫通により上越線全通	・大河津分水完工*4
	1932(昭和7年)	・第1次上海事変 ・5.15事件 ・時局匡救耕地関係農業土木事業発足		・神納郷用水改良事業着工(～'35) ・東大通川沿岸用水改良事業着工(～'36)



時代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史
	1933(昭和8年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際連盟脱退</li> <li>米穀統制法公布</li> <li>三陸地震大津波</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>樋曾山隧道事業着工(～'39)</li> <li>西川用水改良事業着工(～'51)</li> </ul>
	1934(昭和9年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>満州国帝政実施(皇帝溥儀)</li> <li>室戸台風</li> </ul>		
	1935(昭和10年)			<ul style="list-style-type: none"> <li>中魚沼郡栗山池*2</li> </ul>
	1936(昭和11年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2.26事件</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>福島江用水改良事業着工(～'51)</li> </ul>
	1937(昭和12年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>廬溝橋事件(日中戦争開始)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>安野川用水改良事業着工(～'39)</li> </ul>
	1938(昭和13年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国家総動員法公布</li> <li>農地調整法公布</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>新津郷用排水改良事業着工(～'43)</li> </ul>
	1939(昭和14年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2次世界大戦はじまる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>佐渡郡小布勢池*2</li> </ul>
	1940(昭和15年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>米穀管理規則により統制</li> </ul>		
	1941(昭和16年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地開発法公布、農地開発営団設立</li> <li>太平洋戦争開始</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>農地開発営団 阿賀野川排水改良事業着工(～'22国営に引継)</li> </ul>
	1942(昭和17年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>食糧管理法公布(供出配給強化)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>国営水沢農地開発事業着工(～'61)※</li> <li>国営六日農地開発事業着工(～'62)※</li> <li>亀田郷、栗ノ木排水機場着工*4</li> </ul>
	1943(昭和18年)			<ul style="list-style-type: none"> <li>新穂村用水改良事業着工(～'56)</li> <li>猿橋川用排水改良事業着工(～'50)</li> </ul>
	1944(昭和19年)			<ul style="list-style-type: none"> <li>萩川用排水改良事業着工(～'52)</li> <li>白根上郷用排水改良事業着工(～'52)</li> </ul>
	1945(昭和20年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>広島、長崎に原爆投下</li> <li>ポツダム宣言受諾、終戦</li> <li>緊急開拓事業実施要領制定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長岡市空襲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地開発営団 新川用排水改良事業着工(～'47、国営に引継)</li> <li>農地開発営団 新江用水改良事業着工(～'47、国営に引継)</li> </ul>
	1946(昭和21年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地改革</li> <li>自作農創設特別措置法制定</li> <li>農地調整法改正</li> <li>地方農地事務局設置</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>国営信濃川左岸農業水利事業着工(～'64)※</li> <li>堀川沿岸排水改良事業着工(～'58)</li> </ul>

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史	
昭和時代	1947(昭和22年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法施行</li> <li>・農業協同組合法公布</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営新江農業水利事業着工(営団から引継、～'55)※</li> <li>・国営新川農業水利事業着工(営団から引継、～'73)※</li> <li>・胎内川沿岸用排水改良事業着工(～'73)</li> <li>・大瀧村外2ヶ村用排水改良事業着工(～'66)</li> </ul>	
	1948(昭和23年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設省設置</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・神納郷排水改良事業着工(～'53)</li> </ul>	
	1949(昭和24年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地改良法公布</li> <li>・ドッジ勧告による均衡予算実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒川沿岸用水改良事業着工(～'61)</li> </ul>	
	1950(昭和25年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝鮮戦争勃発</li> <li>・国土総合開発法公布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟県の農地改革が完了(9万9442町歩の農地が売り渡される)</li> </ul>		
	1951(昭和26年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積雪寒冷地単作地帯振興臨時措置法公布</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・西川西部用排水改良事業着工(～'59、新川用排水改良事業に統合)</li> </ul>	
	1952(昭和27年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地法公布</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営荒川農業水利事業着工(～'58)※</li> <li>・新川右岸用排水改良事業着工(～'59、新川用排水改良事業に統合)</li> <li>・三面川左岸用水改良事業着工(～'68)</li> <li>・信濃川右岸用水改良事業着工(～'70)</li> </ul>	
	1953(昭和28年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北九州及び和歌山県に大水害</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新川左岸用排水改良事業着工(～'59、新川用排水改良事業に統合)</li> <li>・猿橋川上流用排水改良事業着工(～'70)</li> </ul>	
	1954(昭和29年)				
	1955(昭和30年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知用水公団、農地開発機械公団設立</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・旭村外6ヶ町村用水改良事業着工(～'56)</li> </ul>	
	1956(昭和31年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟県、財政再建団体に指定される</li> </ul>		
	1957(昭和32年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八郎潟干拓事業開始</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国府川左岸用水改良事業着工(～'67)</li> <li>・今町郷用排水改良事業着工(～'70)</li> </ul>	
	1958(昭和33年)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営鎧潟干拓事業着工(～'68)※</li> <li>・西蒲原南部用排水改良事業着工(～'59、新川用排水改良事業に統合)</li> </ul>	
	1959(昭和34年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢湾台風</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新川用排水改良事業着工(西川西部、新川右岸、新川左岸、西蒲原南部が統合)</li> <li>・豊栄北部用排水改良事業着工(～'69)</li> <li>・新穂ダム完成*6</li> </ul>	

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史
	1960(昭和35年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>所得倍増計画</li> <li>食糧増産対策事業から農業基盤整備事業に名称変え</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>坂井川用水改良事業着工</li> </ul>
	1961(昭和36年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業基本法制定</li> <li>水資源開発公団法公布(設立は'62)</li> <li>耕地面積、田3,414,000ha、畑2,719,000ha、計6,136,000ha</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>国営阿賀野川用水農業水利事業着工(～'83)※</li> <li>地盤沈下対策事業</li> </ul>
	1962(昭和37年)			
	1963(昭和38年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体営圃場整備事業の創設</li> </ul>		
	1964(昭和39年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京オリンピック</li> <li>八郎潟大潟村誕生</li> <li>改正河川法公布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟地区、新産業都市に指定される</li> <li>6.16 新潟地震</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国営加治川農業水利事業着工(～'74)※</li> </ul>
	1965(昭和40年)			<ul style="list-style-type: none"> <li>信濃川水系農業水利調査事務所設立*4</li> <li>国営魚野川東部農地開発事業着工(～'78)※</li> </ul>
	1966(昭和41年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地改良長期計画(1次)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>国営福島潟干拓事業着工(～'76)※</li> </ul>
	1967(昭和42年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公害対策基本法公布</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>国営新川第二農業水利事業着工(～'79)※</li> <li>阿賀野川右岸用排水改良事業着工</li> </ul>
	1968(昭和43年)			<ul style="list-style-type: none"> <li>国営関川農業水利事業着工(～'83)※</li> <li>五十嵐川沿岸用水改良事業着工</li> </ul>
	1969(昭和44年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>米の生産制限始まる(開田抑制措置)</li> <li>農業振興地域の整備に関する法律公布</li> <li>農道舗装事業の創設</li> </ul>		
	1970(昭和45年)			<ul style="list-style-type: none"> <li>国営刈谷田川農業水利事業着工(～'86)※</li> <li>加治川沿岸用水改良事業着工</li> </ul>
	1971(昭和46年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>政府米の買入制限導入</li> <li>沖縄返還</li> <li>環境庁発足</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>川西用水改良事業着工(～'84)</li> </ul>
	1972(昭和47年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地改良法改正</li> <li>農村基盤総合整備パイロット事業の創設</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>国営新津郷農業水利事業着工(～'89)※</li> <li>神林用排水改良事業着工(～'83)</li> <li>新川河口排水機場完成(東洋一)</li> </ul>

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史
	1973(昭和48年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次石油ショック</li> <li>・土地改良長期計画(2次)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営苗場山麓第一農地開発事業着工(～'94)※</li> <li>・関川用水改良事業着工</li> <li>・内ノ倉ダム完成※</li> </ul>
	1974(昭和49年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国土利用長期計画法公布</li> <li>・国土庁発足</li> </ul>		
	1975(昭和50年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・福島潟干拓完工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営苗場山麓第二農地開発事業着工(～'99)※</li> <li>・新津郷用水改良事業着工</li> </ul>
	1976(昭和51年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地改良法改正</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・正面ヶ原用水改良事業着工(～'85)</li> <li>・藤津川用水改良事業着工(～'85)</li> </ul>
	1977(昭和52年)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営新井郷川施設整備事業着工(～'81)※</li> </ul>
	1978(昭和53年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林省、農林水産省に省名変更</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐和田用水改良事業着工</li> <li>・潟川用排水改良事業着工</li> </ul>
	1979(昭和54年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次石油ショック</li> <li>・国営農地防災排水事業の創設</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営信濃川左岸二期農業水利事業着工(～'95)※</li> <li>・笹ヶ峰ダム完成※</li> </ul>
	1980(昭和55年)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営西蒲原排水農業水利事業着工(～'03)※</li> </ul>
	1981(昭和56年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食糧管理法の改正</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営下田農地開発事業着工(～'94)※</li> </ul>
	1982(昭和57年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・上越新幹線、新潟・大宮間開業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営信濃川下流農業水利事業(～'95)※</li> </ul>
	1983(昭和58年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地改良長期計画(3次)</li> <li>・日本海中部地震</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・刈谷田川右岸用水改良事業着工</li> <li>・大瀧用排水改良事業着工</li> </ul>
	1984(昭和59年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業振興地域の整備に関する法律と土地改良法の改正</li> <li>・118品目の関税引き下げなど対外経済対策を決定</li> </ul>		
	1985(昭和60年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・柏崎原発第1号機発電開始</li> </ul>	
	1986(昭和61年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・21世紀へ向けての農政の基本方向</li> </ul>		
	1987(昭和62年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水田農業確立対策決定</li> </ul>		
	1988(昭和63年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日米牛肉オレンジ問題、GATTでの紛争解決へ</li> <li>・青函トンネル、瀬戸大橋開通</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・県営:佐和田ダム完成*6</li> <li>・国営阿賀野川右岸農業水利事業着工(～'06)※</li> <li>・国営板倉地すべり対策事業(～'05)※</li> </ul>
	1989(平成元年)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・国営阿賀野川施設整備事業着工(～'93)※</li> </ul>

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史
平成時代				・大谷内ダム完成※
	1990(平成2年)			・国営笹ヶ峰地すべり対策事業着工(～'05)※
	1991(平成3年)	・農業農村整備事業と事業名変わる		・国営佐渡農業水利事業着工※
	1992(平成4年)			・国営苗場農地整備事業着工(～'02)※
	1993(平成5年)	・環境基本法案決定 ・北日本中心に大冷害、作況指数74、冷害対策として米の緊急輸入		・国営頸城北部農地整備事業着工(～'00)※
	1994(平成6年)	・ウルグアイ・ラウンド農業合意関連対策大綱を決定		・国営白根郷農地防災事業着工(～'08)※ ・城原ダム完成※
	1995(平成7年)	・阪神・淡路大震災		
	1996(平成8年)			
	1997(平成9年)	・環境影響評価法(環境アセス法)公布		・国営柏崎周辺地区農業水利事業着工※
	1998(平成10年)	・中央省庁等改革基本法成立		
	1999(平成11年)	・食料・農業・農村基本法成立		
	2000(平成12年)	・食料・農業・農村基本計画閣議決定		・国営阿賀野川用水施設整備事業着工(～'03)※
	2001(平成13年)			
	2002(平成14年)			・国営亀田郷農業水利事業着工(～'08)※
	2003(平成15年)			
	2004(平成16年)	・中越地震	・10.23 中越地震	
	2005(平成17年)			・田157,300ha、畑19,700ha、計177,100ha ・国営新川流域農業水利事業着工※
2006(平成18年)		・新潟市が政令指定都市に移行 ・7.16 中越沖地震	・小倉ダム完成※ ・鶴川ダム完成*6 ・国営新川流域農業水利事業着工※	
2007(平成19年)	・中越沖地震			
2008(平成20年)	・岩手・宮城内陸地震		・阿賀野川用水施設整備事業着工※ ・後谷ダム完成※	
2009(平成21年)				

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	新潟県の歴史	新潟県の水土整備の歴史
	2010(平成22年)			・国営庄川左岸農業水利事業着工※
	2011(平成23年)	・東日本大震災 3.11 東北地方太平洋沖地震(死者・不明者18,617人(H24.11.14警察庁)、津波による農地の流失・冠水等被害推定面積23,600ha(H23.3.29農林水産省))		
	2012(平成24年)			・外山ダム完成※ ・国営加治川用水農業水利事業着工※
	2013(平成25年)			

<参考文献>

- \*1 「疏水百選」(2006年)(全国土地改良事業団体連合会)
  - \*2 「日本水利施設進展の研究」(1958年)(牧 隆泰著、土木雑誌社)
  - \*3 「明治前日本土木史」(1956年)(日本学術振興会、日本学士院日本科学史刊行会)
  - \*4 「農業土木史」(1979年)((社)農業土木学会)
  - \*5 「明治以前日本土木史」(1936年)(土木学会編、岩波書店)
- ※ 「各地方農政局ホームページ」等より抜粋
- なお、「水土整備の歴史」欄で無印の事業等は「新潟県土地改良史」(1986年)より抜粋  
また、新潟県の歴史は「新潟県の歴史」(1998年)(山川出版社)より抜粋